

平和憲法はなぜ大切か

—石田憲『敗戦から憲法へ』を手掛かりにして(1)—

話題提供：山田(岩間)千絵(高木学校 くらしの中からかえるプロジェクト)

日本、ドイツ、イタリアの三国において、戦前の体制を克服すべく形成された三つの憲法。憲法改正についてどのような態度をとるにせよ、制憲過程の特徴を踏まえううえで帰結(憲法)を理解することは不可欠です。比較国際政治史の観点で見れば、敗戦と同時に始まった三国の制憲過程には戦前からの体制(超国家主義・ナチズム・ファシズム)の連続性という共通項があります。しかしそれぞれの過程を経て生み出されたのは異なる根幹理念(日「平和主義」・独「基本権」・伊「社会権」)を掲げた憲法でした。また三国とも70年に渡り根幹理念を変えてこなかったことは共通しています。

世界で唯一、戦争を放棄し平和憲法と呼ばれる日本の憲法。それはどのように獲得されたのか。そして私たちにとって「なぜ」大切か。比較と歴史の視点から、改めてご一緒に考えてみませんか？(全3回の1回目) *なぜ、これら理念は生まれたのか。2回目以降に考えていきます。*

「カフェ」でめざすこと：「カフェ」では自由に話す⇔聞くことができます。かつてカフェは市民が、平等な立場で、討論をすることによって、世論をつくり出してゆく場所という役割を果たしていました。わたしたちも、参加者が立場や肩書を超えて遠慮なく話せる場所、深く対話できる場所を提供したいと思います。(進行:山田)

☆くらしの中からかえるプロジェクトとは：一人一人のくらしに根ざした、草の根からの問題発見と政策提言を応援するため、基礎的な研究を行っています。近年は、ワークショップ等の企画・実施(公共政策課題に関する議論のための場づくり)、研究活動(公共政策)、調査・普及活動(その他、基礎知識)に力を入れています。

2016年8月20日(土)

◆場所

新宿区環境学習情報センター(2階)

10:10~12:40(予定)

[資料代] 200円

[申込み] 不要/直接会場へお越しください

◆交通のご案内：★新宿駅西口 徒歩15分

★バス新宿駅西口ターミナル17番乗り場

■京王バス 宿32・宿33「十二社(じゅうにそう)池の下」下車 徒歩1分

★大江戸線「都庁前」駅A5番より徒歩5分

★丸の内線「西新宿」駅2番より徒歩10分

◆住所：東京都新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園 エコギャラリー新宿内

◆お問い合わせ：takasas@ja.main.jp (高木学校事務局) ◎出前講座のご希望があれば承ります。



主催 高木学校 (カフェ企画会)